

令和 2 年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」  
選考結果について

# 令和2年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」

## 選考結果について

体育学校安全課

### 1 事業の概要

#### (1) 目的

本事業は、中学校の全国大会等で活躍できる競技者を育成するため、徳島県中学校体育連盟に加盟する実績のある競技専門部を指定し、競技力の向上を図ることを目的とする。

また、高校の「NE0徳島トップスポーツ校強化事業」と連携し、中学校での強化活動を高校へつなげることで、本県の競技力の向上を中・長期的な展望に立って、計画的・継続的に推進する。

#### (2) 選考委員会

- ①期 日 令和2年6月3日(水) 県立総合教育センター 研修室4
- ②選考委員 中体連, 高体連, 女体連, スポーツ協会, 県教委 各代表14名
- ③申請専門部 陸上競技, 新体操, 弓道, 柔道, バasketボール, ソフトボール
- ④評価の観点 競技実績, 強化計画及び競技団体との連携体制等を総合的に評価

### 2 選考結果

陸上競技, 新体操, 弓道, 柔道, バasketボール, ソフトボールの6競技を中学校トップスポーツ競技に指定〔※実績(全国)は, 過去3ヵ年(H29~R元年度)を記載〕

競技専門部	指 定 理 由
陸上競技	<p>県協会と連携し組織的な選手強化を実施し、全国で戦える選手を育成している。県対抗戦などの新たな発想も計画されている。体力・技術力の向上のほか、チーム力・コミュニケーション力の向上を図る取組もあり、長期的な展望で選手の育成を図っている。</p> <p>・実績[全国] [H30] 女子砲丸投げ4位 男子走幅跳5位 男子100m8位 男子U-16 60m5位 [R元] 女子砲丸投げ2位 男子110mH7位</p> <p>・主な進学先 城ノ内高校 徳島北高校</p>
新体操	<p>過去には、団体優勝・準優勝・4位と10年以上にわたり、全国大会で好成績を残している。ジュニアから育成した選手が高校へとつながる道筋が根付いている。その結果、昨年度は日本代表候補者として強化選手に選出されるなど国際舞台への出場が期待される選手が育っている。</p> <p>・主な進学先 富岡西高校</p>

競技専門部	指 定 理 由
弓 道	<p>昨年度は、全国大会で男子個人優勝、女子8位の好成績を残し、過去5年間でも個人入賞、団体ベスト16を逃していない。インターハイ・国体で活躍する選手の育成を視野に入れた中・高の連携ができており、県連盟からのバックアップ体制も整っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績[全国] [H29]女子団体優勝 女子個人2位 [H30]女子団体3位 女子個人4位 [R元]男子個人優勝 女子個人8位</li> <li>・主な進学先 徳島科技高校、徳島市立高校</li> </ul>
柔 道	<p>毎年、全国大会で活躍する選手育成ができています。強化選手を指定し少年部や高体連、県連盟との連携を図っている。数年にわたり遠征や合宿を定期的・継続的に実施する強化計画・支援体制が整っており、国際大会で活躍する県出身選手を生み出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績[全国] [H29]女子57kg級5位 [H30]女子70kg級3位 [R元]女子48kg級3位</li> <li>・主な進学先 徳島北高校、鳴門渦潮高校</li> </ul>
バスケット ボール	<p>低迷気味の団体競技が多いなか、ここ5年で、全中大会とジュニアオールスター大会で、ベスト4 1回、ベスト8 2回、ベスト16 5回という好成績を残している。県協会との連携のもと、専門の指導者によるフィジカル強化や食育を取り入れた強化がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績[全国] [H29]男子ベスト8、県男子選抜ベスト4</li> <li>・主な進学先 男子 海部高校、城東高校</li> </ul>
ソフトボール	<p>競技人口が減少しているなか、全中大会やJOCカップでの上位入賞を継続している実績がある。県協会との連携のもと、計画的な強化策が実施されている。選手獲得に向けて、ジュニア層への働きかけや高校との連携が行われており、今後の活躍が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績[全国] [H29]県男子選抜ベスト8 [H30]県男子選抜ベスト8</li> <li>・主な進学先 徳島科技高校、城南高校</li> </ul>